

## 平成 29 年度 県立厚木北高等学校不祥事ゼロプログラム検証結果

課題	目標	検証結果
① 法令遵守意識の向上(公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む)	○法令を遵守し、公私の別を明らかにして、生徒・保護者・県民の信頼を得る。	○教育公務員の立場を常に自覚して生徒・保護者に対して職責を果たすプロ意識の強化を図り、生徒・保護者の信頼を得た。 ○法令遵守意識の向上を図った。
② わいせつ・セクハラ行為の防止	○わいせつ・セクハラ行為の発生を未然に防止する。	○校内人権相談窓口の活用を図った。 ○携帯電話や電子メール等による不適切な連絡行為防止の徹底を図った。 ○教職員全員を対象にして職場研修を実施した。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努めた。
③ 体罰、不適切な指導の防止	○生徒への体罰や不適切な指導を防止する。	○体罰、不適切指導事案の徹底究明を実施し、指導のあり方を全職員で再確認するとともに再発防止を徹底した。 ○教員・保護者の連絡を密にし、情報の共有化に努めた。 ○生徒指導等の指導状況は常に記録し、情報の共有化に努めた。 ○生徒への指導は常に記録し、情報の共有化を図った。 ○電子メールの不適切な使用をしないことを徹底した。 ○教職員全員を対象に職場研修を実施した。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努めた。
④ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	○テスト作問における整合性の確認と採点処理、答案返却等を確実に実施する。 ○調査書・通知表等の作成に係る事故ゼロの徹底。	○作問チェックマニュアルに基づき複数体制で作問、解答用紙を確認し、事故防止に努めた。 ○採点後の答案返却時に欠席等の生徒の解答用紙の保管を徹底し、確実に本人に返却した。 ○調査書発行マニュアルに基づき、チェック体制を明確にして調査書等発行手続きを行った。
⑤ 個人情報等の管理・情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	○個人情報の流出を未然に防止する ○外部記憶媒体の紛失等の防止 ○インターネットの適正利用を図る。	○鍵のかかる場所に保管し定期的にチェックした。 ○保管期間の終了を複数で確認の上、廃棄を行った。 ○個人情報持ち出し手続きを徹底した。(携帯電話等への登録も同様に徹底した。) ○私物のUSBメモリの持ち込み禁止、貸し出しUSBメモリの管理を適切に実施した。 ○教職員全員を対象にして職場研修を実施した。

		○定期的にチェックを行い、啓発に努めた。
⑥交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	○交通事故の発生を未然に防止する。 ○酒酔い、酒気帯び運転を防止する。	○「交通事故防止」「飲酒運転は同乗者も免職」等の注意を徹底した。 ○所属教職員全員を対象にした職場研修を実施した。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努めた。
⑦業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	○書類の整理・保管を徹底する。 ○危機管理意識の徹底と不祥事防止を図る。 ○業務遂行の無理をなくし、適正な業務遂行環境を確立する。	○日常の書類整理を励行した。 ○文書保管キャビネットへの保管を徹底した。 ○起案・決裁等を確実に実施した。 ○危機管理意識を喚起し、不祥事の未然防止を図った。 ○ある時期に過大に業務が集中していないか点検し、過大な場合の適正化を図った。 ○教職員全員を対象にして職場研修を実施した。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努めた。
⑧会計事務等の適正執行	○備品管理の適正化を推進する。 ○不適正経理を防止する。 ○不適切な現金取扱を防止する。	○備品の現物照合を確実に実施し、現物確認を終了した。 ○会計事務等において適正に執行した ○私費会計基準に則った会計処理を実施した。 ○教職員全員を対象に職場研修を実施した。 ○定期的に自己チェックを行い、啓発に努めた。

○平成 29 年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成 30 年度に取り組むべき課題

- ・生徒指導における体罰・暴言等の不適切指導事案が確認され、全職員に改めて生徒指導のあり方の指導助言を徹底した。平成 30 年度も継続して体罰・暴言等の根絶に取り組んでいく。
- ・成績処理、進路関係書類のチェック機能を明確にして、事故防止に努める。
- ・業務執行体制のチェックを徹底するとともに、情報の共有化を迅速に遂行する。